



がん征圧・患者支援チャリティイベント リレー・フォー・ライフ(RFL)とは？

がん患者さんやその支援者たちの勇気を称え、希望をわかちあう場として世界20カ国で毎年開催されているリレー・フォー・ライフ(RFL)。このイベントでは、がんと向き合う人たちが同じ病気を持つ仲間と出会い、イベントを通して絆を深めることで希望を見い出しています。

RFLはアメリカがん協会によって運営され、日本では公益財団法人日本対がん協会と各地の実行委員により主催されています。

がんの告知を受けて悩みとまどいながら日々を過ごす人、
つらい治療とむきあっている人、再発をおびえる人。またはがんで大事な人を亡くした人。
そしてそれらの人をそばで見守り支えている人。
それからがんとは直接かかわりを持たない人、つまり誰もが参加できるイベントです。



写真：ルミナリエバッグ リレー・フォー・ライフしが実行委員 HP より 抜粋

RFLの使命 Save Lives と三つのテーマ

“Save Lives”の直訳は「命を救う」ですが、医療行為によって救命を行うという意味ではありません。医療に従事していなくても、RFLに参加し寄付金を募ることで医療の進歩に貢献し、間接的に人の命を救う事ができます。生きる希望を失った人の支えになることもまた、命を救う事です。“Save Lives”のもうひとつの意味、それは「人の魂を救う」ことなのです。

Celebrate 祝う がん告知を乗り越え、今を生きているサバイバーや家族などの支援者を讃え、祝福します。

Remember しのぶ がんで亡くなった愛する人をしのび追悼します。また病の痛みや悲しみと向き合っている人たちを敬います。

FightBack 立ち向かう がん予防や検診を啓発し、制圧のための寄付を募り、がんに負けない社会を作ります。

公益財団法人日本対がん協会リレー・フォー・ライフ HP より抜粋

がん細胞は24時間眠らない。がん患者は24時間闘っている。24時間つなぐリレーウォーク。

一人の医師がアメリカがん患者のために寄付を呼びかけて24時間歩き続けました。翌年、友人らとチームを組み24時間タスキをつないで歩いたことからリレーウォークは生まれました。会場ではチームの仲間とタスキをつないで歩いています。好きな時間帯だけや個人での参加も可能です。

RFL ジャパンしがについての情報はHPより入手できます。 <http://relayforlife.jp/shiga/>

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015しが

10月24日(土)～25日(日) 休暇村近江八幡(宮ヶ浜)で開催。

近江八幡市立総合医療センターは、東近江医療センター・滋賀医科大学医学部付属病院とともにブースを設け、がん相談支援を行います。また、リレーウォークに参加します。ルミナリエバッグにメッセージを綴り、がんに立ち向かう方を応援します。